

RasterLinkPro5 SG タイリング印刷手順書

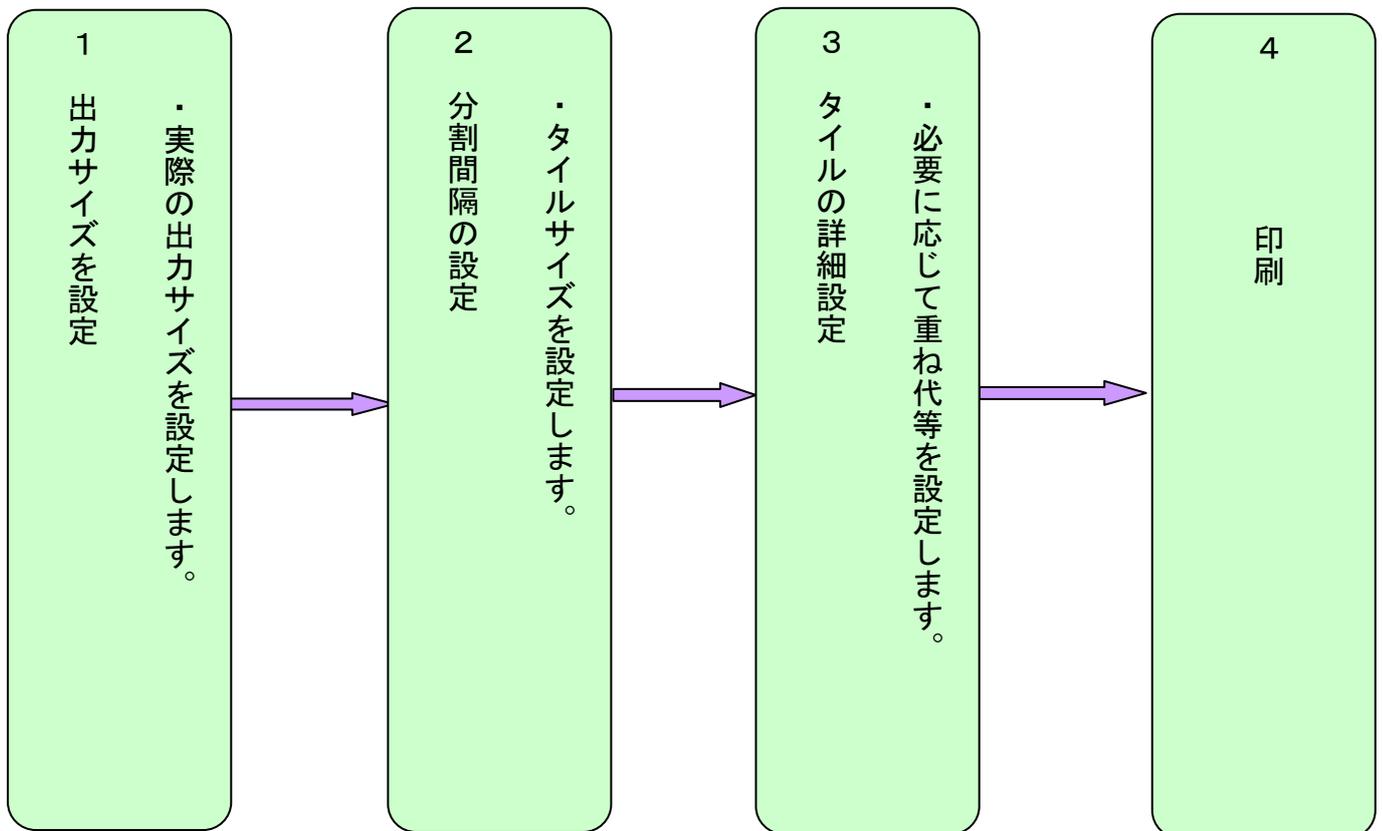
タイリング印刷とは

出力サイズがメディアサイズよりも大きい時などに複数に分割して、印刷する機能です。

その為、繋ぎ合わせて大きな看板等が作成出来ます。

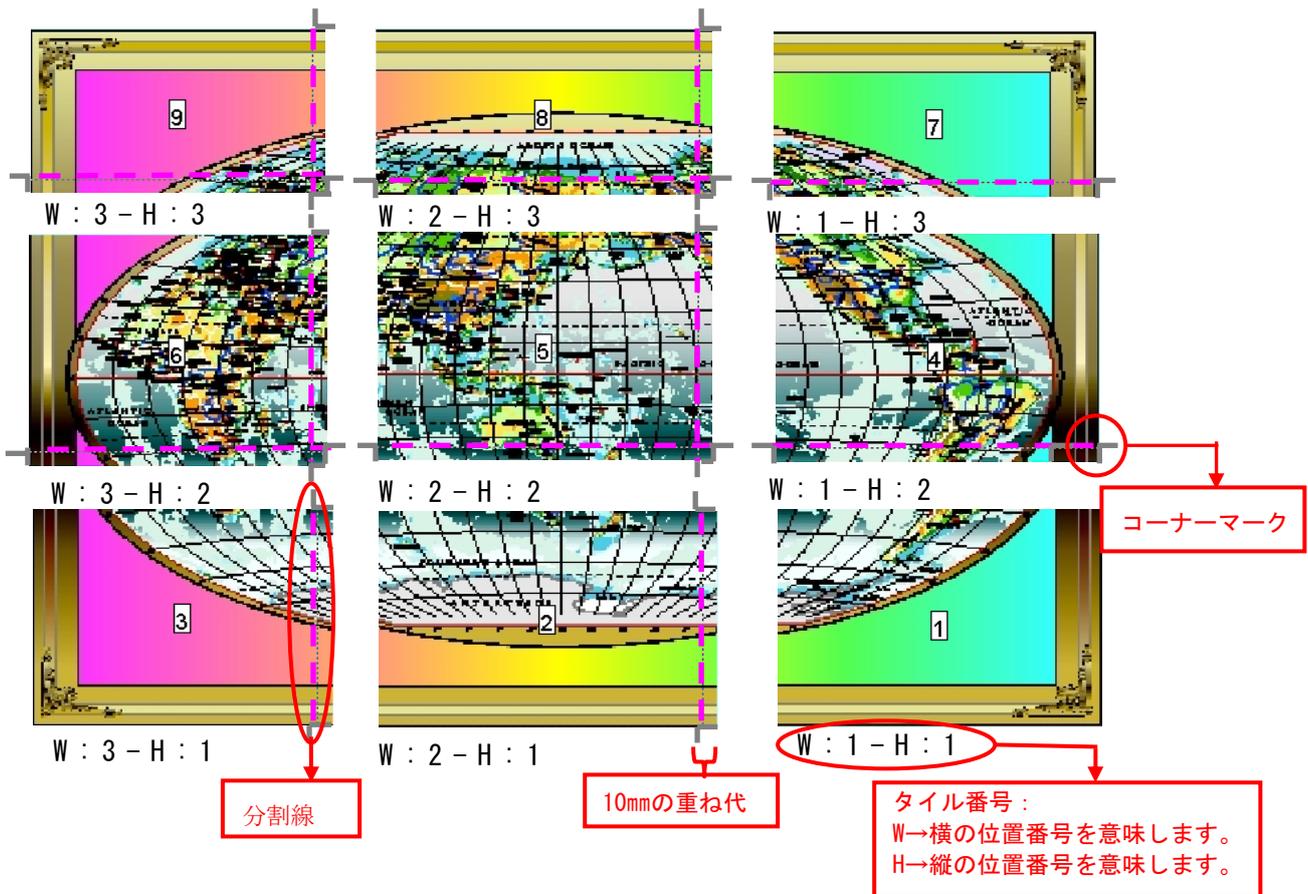
ここでは、そのタイリング印刷の設定手順についてご説明致します。

◎タイリング印刷の流れ



◎印刷結果イメージ

後述ご説明する設定手順を行なうと、下図の印刷結果イメージとなります。



◎設定手順

1. 出力サイズを設定する。

- ①ジョブ一覧からタイリングするジョブをダブルクリック、もしくは右クリックから編集を選択します。

プリント名	グループ	ファイル名	形式	サムネイル	状態	ファイルサイズ	RIP済データ
JV33	単独	RipMe.eps	EPS		待機中	23.13 MB	なし

プロパティ... Shift+E

編集... ←

グループ解除 Ctrl+U

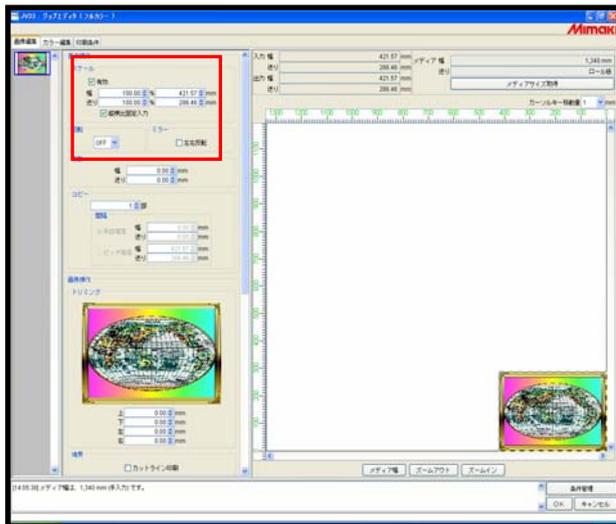
RIP&印刷 Ctrl+I

②ジョブエディタが開きます。

ここで実際の出力サイズを設定します（例：ここでは1000%拡大します）。

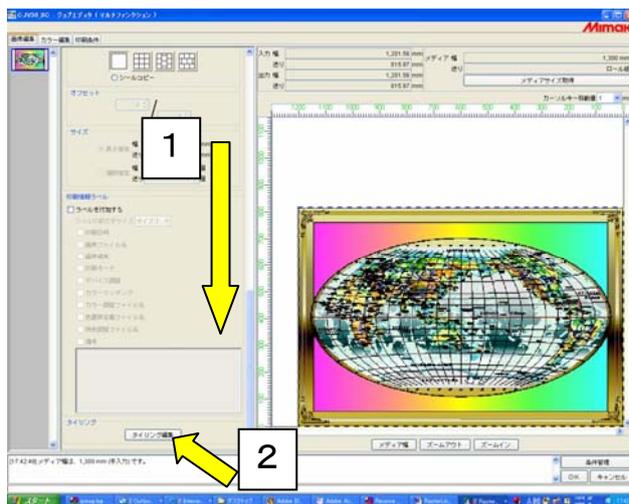
また回転、ミラーの設定が必要であればここで設定をします。

【注：コピー及びトリミング/パネリング設定している場合はタイリング印刷は出来ません。】



③プレビュー画像が出力サイズに応じて大きくなります。

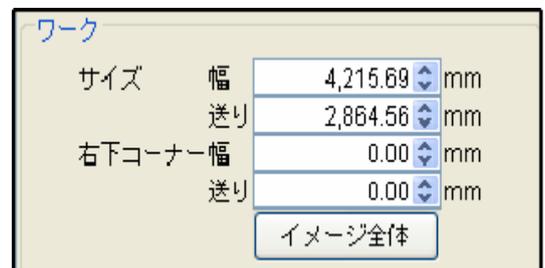
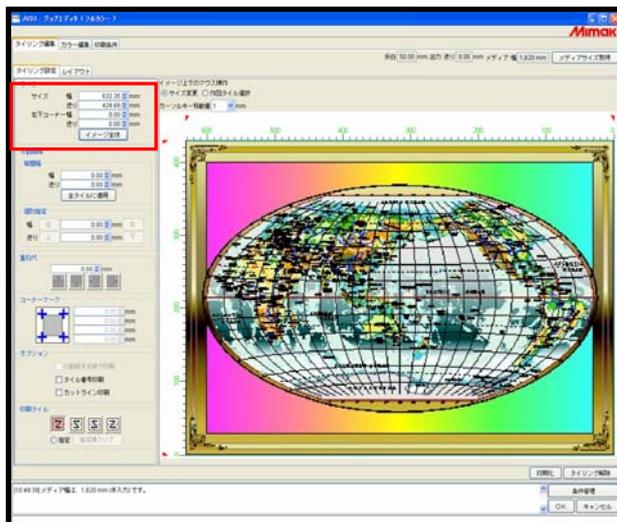
1、画面下までスクロールし、2、[タイリング編集] ボタンを押します。



④タイリング設定画面に切り替わります。

[ワーク]の[サイズ]に、手順②で設定した出力サイズが反映されます。

必要に応じて微調整し実際のワークサイズに合わせて下さい。



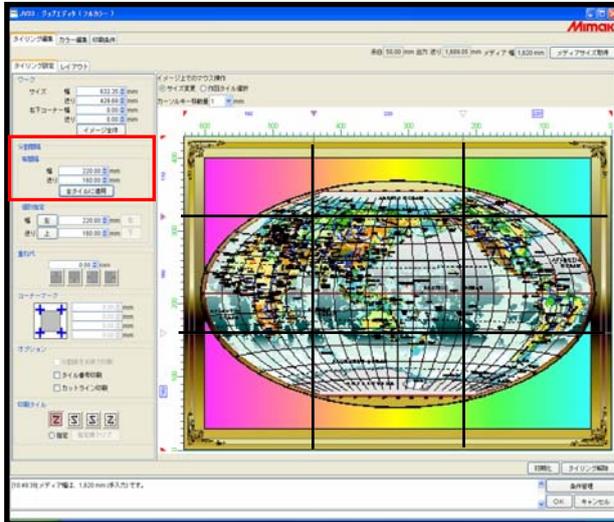
2. 分割間隔（タイルサイズ）の設定をする。

①分割間隔のサイズを入力します。

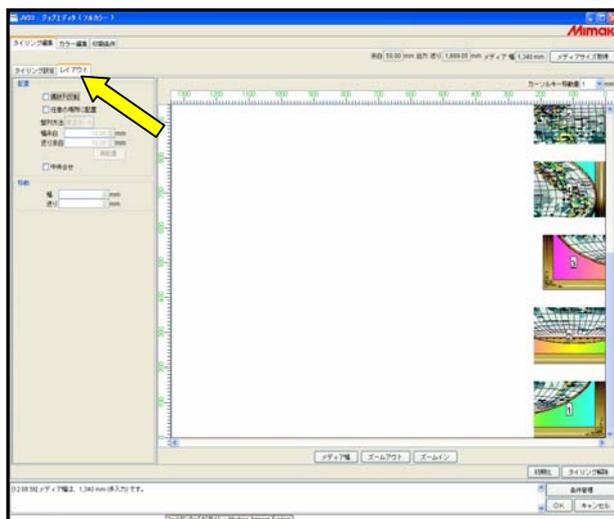
(ここではタイルサイズの幅 1500 mm×送り 1000 mmとします。)

[等間隔]の「幅」に 1500 mm、「送り」に 1000 mmと入力し、[全タイルに適用]ボタンを押します。
指定したサイズで分割され、右画面イメージに分割した線が表示されます。

【注：タイル最小値は 25.4 mmです。それに満たない場合、エラーとなります。】

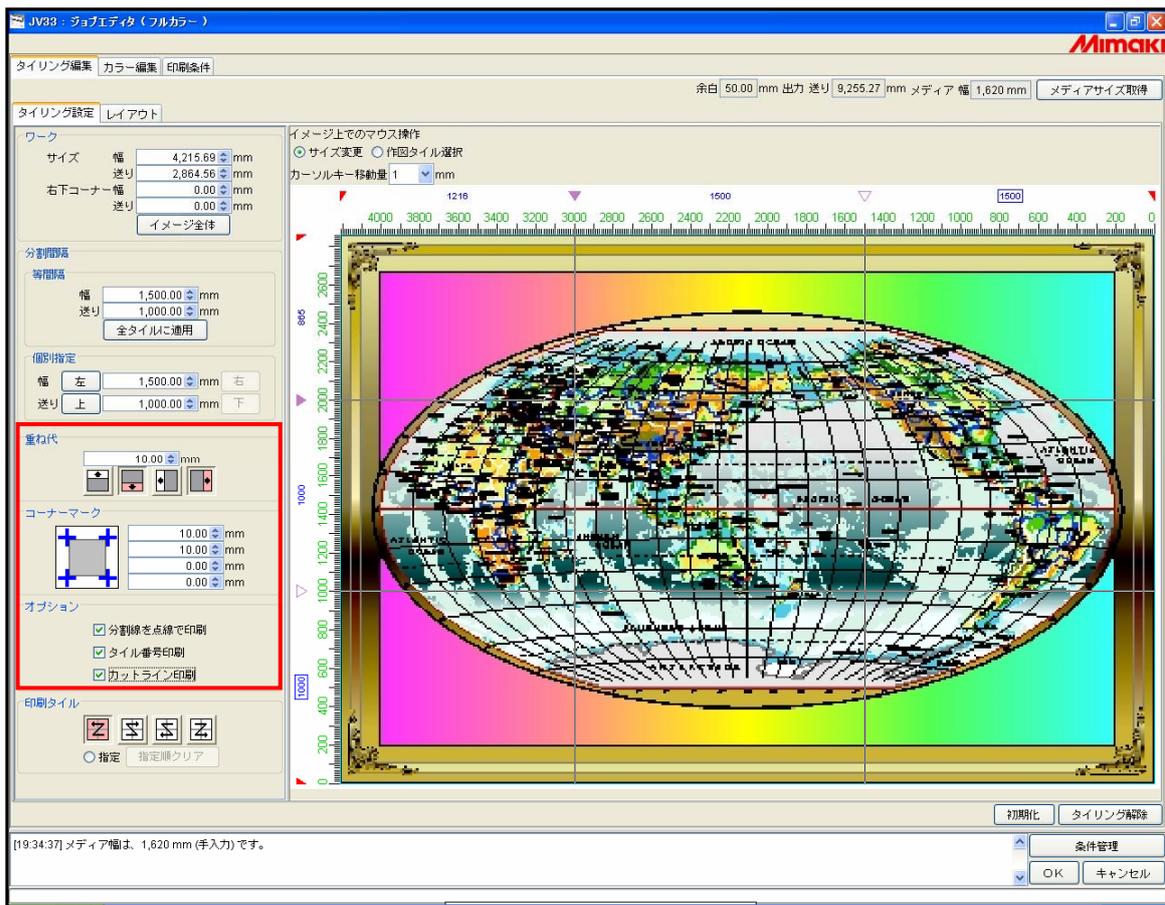


②[レイアウト]タブを押して、レイアウトプレビューで分割設定がされている事をご確認下さい。

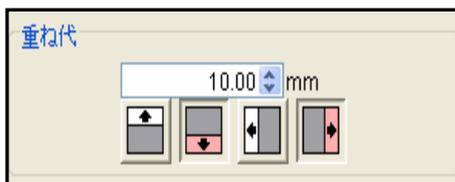


3. タイルの詳細設定をする。

施工の際に貼り合わせがし易くなるよう、重ね代やタイルに番号等を付ける事が出来ます。



3-1. 重ね代の設定

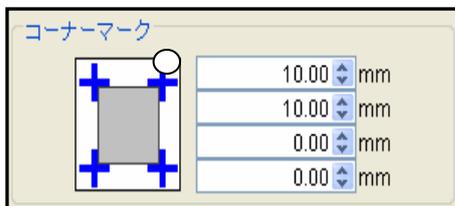


◎重ね代の長さと位置を設定します。

(ここでは、タイルの下と右に 10 mmの重ね代を設定します。)

【注：重ね代は 5 mm～100 mmの範囲となります。又、重ね代の長さがタイルサイズより大きい場合はエラーとなります。】

3-2. コーナーマークの設定



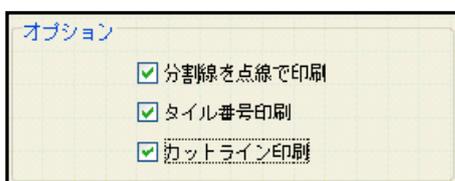
◎コーナーマークの長さと位置を設定します。

(ここでは、垂直と水平の外側に 10 mmを設定します。)

又、設定している箇所は色が青から白に変わります)

【注：重ね代を設定していなければ付ける事が出来ません。】

3-3. オプションの設定



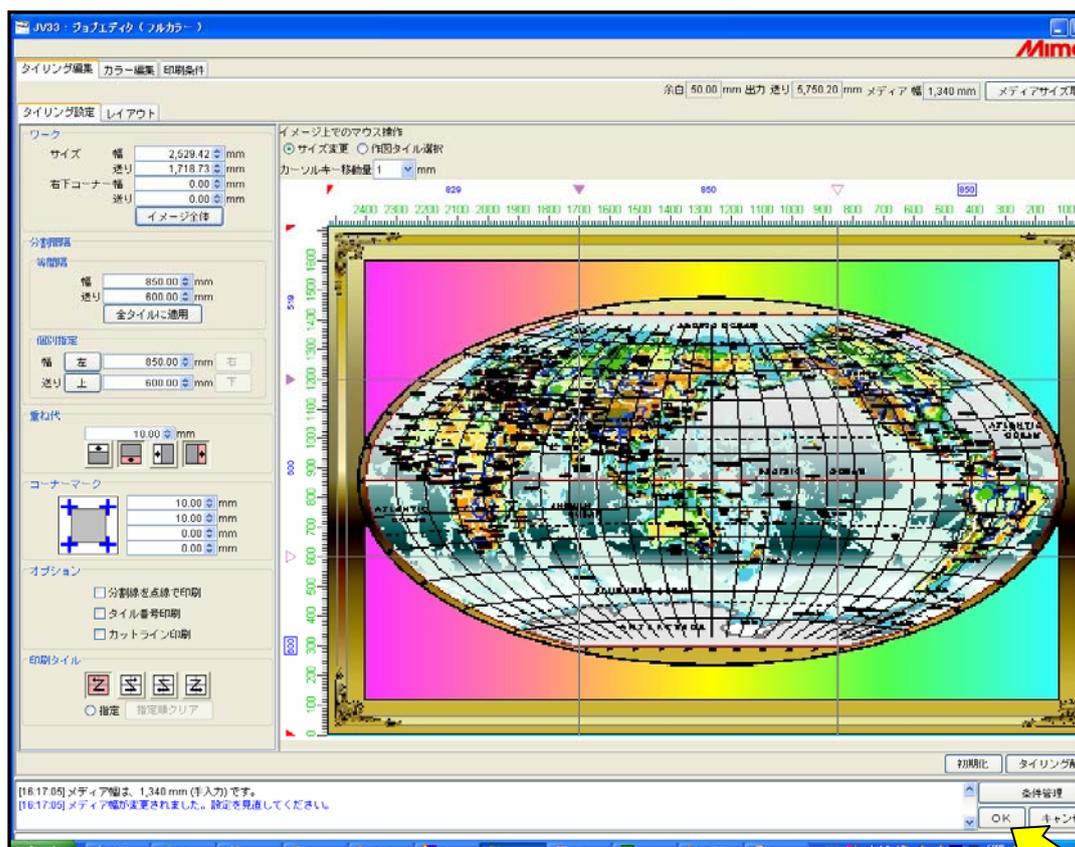
◎印刷する項目にチェックして下さい。

【注：「分割線を点線で印刷」は重ね代を設定していなければ選択できません。】

3-4. 設定の更新

全ての設定が完了しましたら、画面右下の[OK]ボタンを押します。

※タイル設定前の状態に戻したい時は[初期化]ボタンを押下して下さい。



4. 印刷

ジョブ一覧画面に戻りますので、右クリックして印刷を実行します。

【注：①任意配置設定している場合は “RIP&印刷” は出来ません。

②印刷指定したタイルのRIP済データがない場合は[印刷のみ]は出来ません。】

プリンタ名	グループ	ファイル名	形式	サムネイル	状態	ファイルサイズ	RIP済データ
JV33	単独	RipMe.eps	EPS		待機中	23.13 MB	なし

プロパティ... Shift+E

編集... Ctrl+E

グループ解除 Ctrl+U

R I P &印刷 Ctrl+1

R I P後印刷

R I Pのみ Ctrl+3

印刷のみ Ctrl+4